

1 「ちょこっと就労」とは？

▶福祉施設における介護等に付随する業務に、週数日・数時間程度の頻度で従事するパートタイム（短時間）就労のことです。

○事業所・施設においては、利用者の生活に深くかかわるサービスを提供する関係上、相談、支援の専門的な資格・技術が不要な仕事が付随しており、職員の負担となっている場合があります。



○「ちょこっと就労」では、そういった補助的な業務を職員の代わりに担ってもらうことで人手不足をカバーし、職員の負担を減らすこと、また、職員が専門的な業務に専念できる状況にすることで、サービスの質を高めることをねらいとしています。

2 「ちょこっと就労」参加事業所のメリット

「ちょこっと就労」に参加している高齢施設の声も含まれています

ちょこっと就労者を雇用したことによるメリットについて、参加事業所の声を紹介します。

●業務の負担軽減

- ・週に数回の数時間の雇用だが、配膳下膳など忙しい時間帯に来ていただき非常に助かっている。
- ・専門職員の雑務を代わりに行ってくれるので、支援に専念できている。
- ・今まではちょっとしたことも職員が行わなければならなかったが、ちょこっと就労で採用してからは、その業務を任せることができ、職員の時間がうまれ、他のことを行えるようになった。
- ・短時間（2時間）だが、ポイントをおさえた業務に関わってもらっているのでありがたい。

●職員・職場への影響

- ・人と人の関わりを大切にしてくれている様子がわかる。一緒に働く若い職員に対し、温かく接してくれている。
- ・指示したことを丁寧に行ってくれる。指示以外にも自分の考えを出したり提案をしてくれる。
- ・些細なことも報告、相談してくれるので、業務改善の一助となっている。衣類整理や掃除など、細部にわたる丁寧な仕事をしていただけるため安心感がある。また、非常にまじめである。

●利用者への影響

- ・入浴の片付けは職員が行っていたが、そういったことを任せると職員が利用者に寄り添う時間が増えた。
- ・ちょこっと就労者との会話を楽しみにしている利用者もいる。
- ・職員が利用者に関わる時間が増えたので、不穏な状態であることが少なくなったように思う。

★導入が進んでいる施設からはメリットとして、業務の負担軽減のほか、職員や職場への良い影響、ひいては利用者への良い影響につながったという意見が寄せられました。

★地域に根差す福祉施設として、地域住民等の社会参加の場、福祉についての理解を働きながら深めてもらう場を提供することは、社会貢献にもつながります。

「ちょこっと就労」は、施設側のメリットだけではなく、働く側にとってもメリットがあります。

●就労者のちょこっと就労をやってみたいと思った理由

- ・家ですることがない時間があって、その間どこかで人の役に立てることがあればと思った。
- ・身体が元気な間は身体を動かして働きたいと思った。
- ・定年になり家族の介護をしていて手があいてきたときに、もう一度介護という仕事で少しでもお手伝いできればと考えた。両親がお世話になっている分、私ができなかったことを少しでもできればとの思いでやってみたい。
- ・身体を壊していたため、働くことに自信が持てずにいたが、週数回、短時間で働くことができ、ゆとりをもって1日を過ごすことができると思ったため。
- ・子どもが学校に通うようになり、少し時間の余裕が持てるようになったので、自分のできる時間で、働きたいと思った。

●ちょこっと就労をやってみた感想とやりがい

- ・慣れない仕事で戸惑ったが、ありがとうと笑顔で言われたときは喜びややりがいを感じる。
- ・数時間なので長く続けられると思った。若い方と仕事ができるので、楽しい。
- ・今までやったことのない仕事なので、すごく勉強になることがある。少しでもお手伝いができればと思う。
- ・楽しい。改めて人と人との関わりが大切だと思った。

★「ちょこっと就労」は、フルタイムで体力的、時間的に難しい方にとって、自分のライフスタイルに合った働き方ができる場として、ニーズがあります。

★就労を通して、社会とのつながりや生きがいを感じている方が多く参加しています。

3 「ちょこっと就労」を導入する際のポイント

「ちょこっと就労」の導入によるメリットがある一方、新しい就労形態の導入ということで、課題や困難さを感じたりしているという意見もあります。

これまでに参加事業所に発生した課題と事業所が工夫した改善点等について紹介します。

① 業務を覚えるのに時間を要する



発生した課題

- ・毎日出勤するわけではないので、業務に慣れるのに時間がかかる。
- ・同じことを何度も繰り返し説明する必要がある。

改善のための取組み

- ・理解されるまで、同じことをくりかえしOJTを行っている
- ・文字のマニュアルよりも、写真などで見える化を進めている。(写真上に、スイッチの説明を入れ込むなど)



・初期は慣れるまで定期的に声をかけたり、わからないことがないか聞くことで定着率が上がった。

Point

★ちょこっと就労者には、高齢者の方や、今まで全く違う仕事をしてきた方も多くいます。勤務時間が短いこともあり、新しいことを覚え、仕事に慣れるのに時間を要することがありますので、根気強い指導や、わかりやすい伝達方法の工夫が定着につながります。

2 新しい業務へ対応できずにすぐ辞めてしまう



発生した課題

- ・仕事を頼んだが、数日で「できない」と言って辞めてしまった
- ・入職前に業務内容を伝えているが、改めて実践してもらおうとできないことがある



改善のための取組み

- ・最初は業務量を抑えめにし、余力があるようであれば、本人の能力にあわせて徐々に時間を延ばしたり、他の業務を依頼する。

Point

★ちよこっと就労で働く人は、働くこと自体が久しぶりで不安に感じている場合があります。スムーズに職場に慣れもらうには、まず「これくらいならできる」と自信をもってもらうことも重要です。

3 想定している業務以上のことを行おうとする



発生した課題

- ・自分の考え等を職員に提案してくれ、助かるのだが、過剰になる時がある。
- ・自身の経験則や思い込みで、お願いしている業務以外の事を独断でしてしまう事がある。
- ・職員側が、つい本来の業務外の仕事をお願いしてしまうことがあった。



改善のための取組み

- ・事前に業務の切り分けをきちんと行い、職員とちよこっと就労者の双方に説明する。
- ・その都度それ以上のことはなくても良いことを納得するまで、説明を行う。

Point

★ちよこっと就労に参加される方は、社会参加に前向きな方、やる気のある方が多いです。その情熱のあまり、指示された以上のことをよかれと思ってやろうとする場合があります。

★ちよこっと就労者の業務を決めるにあたり、利用者の直接的な介助に関する部分に関しては専門的な技能を要するため、事前にきちんとした線引きを行い、介護職員とちよこっと就労者の双方に業務分担の十分な説明を行うことが重要です。

★ちよこっと就労者が介護職の経験がある方や、入職後に施設内で研修を行う場合などは、介助に携わることも可能かと思われそうですが、採用時に十分な説明が必要になると考えられます。

●上記はこれまでに導入した施設であった事例ですが、通常の雇用と同じく、面談等で就労条件や人となりを確認したうえで、採用の判断をしていただくこととなります。

●あらかじめ、何曜日に何時間、どの時間帯に必要かを把握しておきましょう。



4 「ちょこっと就労」が目指すもの

「ちょこっと就労」が導入されることで、さまざまな方へのメリットが期待できます。

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 施設職員 | 専門的な業務に専念でき、サービスの質が向上する。 |
| 利用者 | サービスの質が高まることにより、満足感が向上する。 |
| ちょこっと就労者 | 生活に張り合いを持たせるとともに、家計に余裕を持つことができる。 |
| 福祉施設 | 施設職員が余裕で持つことで職場満足度が向上し、人材不足の解消につながる。 |
| 地域行政 | 高齢者等が活躍の場を見つけることで、自立共生的な社会を実現できる。 |

【ちょこっと就労に期待される効果】

